

第23号

—平成31年1月4日発行—

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
秋田県点字図書館

〒011-0943 秋田市土崎港南三丁目2番58号
電話 018(845)0031・貸出018(853)4035
FAX 018(845)7772
H P <http://www.fukinoto.or.jp/tenji/>
E-mail tenji@fukinoto.or.jp

秋田県点字図書館奉仕者表彰式 (敬称略)

- 理事長表彰感謝状
 - 点訳校正 佐藤 節子
 - 点訳判定校正 鈴木 章子
 - 音訳 保坂 清子
 - 音訳 デイジー編集 古屋 栄子
 - 作業 秦屋 諒子
 - 作業 若狭 洋子
 - 作業 佐川 育子
- 館長表彰感謝状
 - 点訳校正 伊藤 俊雄
 - 点訳判定校正 堀井 由美子
 - 点訳 小堀 祥子
 - 音訳校正 渡部 ヤエ子
 - 音訳 奥山 美和子
 - 音訳校正 栗田 和子
 - 音訳校正 三浦 有美子
 - デイジー校正 小田原 里子
 - 作業 佐藤 逸子
 - 作業 石川 真知子
- 館長表彰奉仕活動記念賞
 - 点訳 浅利 和香子
 - 音訳 上柿 明子
 - 点訳 安藤 麻須子
 - 音訳 村井 貞子
 - 音訳 石山 美幸
 - 音訳校正 三浦 美希



秋田県点字図書館奉仕者表彰式

- デイジー編集 小田原 里子
- 点訳 鈴木 章子
- 点訳 デイジー編集 桃井 裕子
- 作業 久杉 ティ子
- 作業 田原 栄子
- 点訳 嶋山 り子
- 作業 富波 和子
- 点訳判定校正 船木 澈郎
- 作業 北川 美幸
- 点訳判定校正 金山 英子
- 作業 飯塚 真理子
- 点訳判定校正 渡部 ヤエ子
- 点訳校正 保坂 ユキ子

年頭のごあいさつ



秋田県点字図書館
館長 熊谷 公彦

明けましておめでとうございます。平成最後の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、日頃より秋田県点字図書館の活動に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

旧年は秋田県に明るい話題がたくさんありました。例えばザギトワ選手の子犬マサル(秋田犬)、世界バドミントン選手権大会女子ダブルス金メダルの北都銀行の永原/松本ペア、夏の甲子園準優勝の金足農業高校などは大きな話題をさらいました。

当館に関しては、活字本や定期刊行物などを多くのボランティアの皆さまのご協力をいただきながら点字図書や録音図書を製作することができ、多くの利用者に貸し出しすることができました。ほか、情報機器や日常生活用具にかかる情報提供をさせていただきました。また、小学生から大人の方々まで楽しんでいただる点字を学び名前を打つ体験などをしていただく夏休み点字図書館探検やプチッと点字体験を行い、点字に触れたことを喜んでいただたことは喜ばしい限りです。

団体表彰の受賞者紹介 (敬称略)

- 厚生労働大臣表彰
「ボランティア功労者表彰」
点訳ボランティアグループ すばる
- 公益法人鉄道弘済会
「朗読録音奉仕奨励賞」
音訳 木元 智恵子
- 日本盲人社会福祉施設協議会
「奉仕員活動者(ボランティア)表彰」
点訳 三浦 久子
音訳 那須 瑠美

編集後記

平成三十年十一月に国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に「男鹿のナマハゲ」が登録された。「秋田と云えばナマハゲ」と広く知られている。少子高齢化と過疎化で継承が難しくなる中、地域の魅力を発信する機会として期待される。ナマハゲは「泣く子はいねが」。親の言うこと聞かぬ子を巡り、怠け心を戒め、無病息災・田畑の実り・山の幸・海の幸をもたらす来訪神。ナマハゲが纏っているケダから落ちたワラは、神聖なもので魔除けになる。縁起が良い、病気をしない、健康になるとしてお守り代わりになると教えられた記憶がある。ある時に節分行事を見る機会があった。節分の鬼が「泣く子はいねが」。親の言うこと聞かぬ子はいねが」と大声で叫んでいた。まあいいか。

当館の活動へのご意見やご要望をお寄せいただき、また、点字図書や録音図書を製作するボランティアの皆さまの活動環境を整えることなどを図り、利用者の皆さまの生活の質の向上に努めることができますよう、これまで同様温かいご支援をいただきたいと存じます。末尾に、今年が皆さまにとって良い一年となりますようご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。



当館のボランティア活動の紹介

○録音室

4室があり、ほぼ毎日音訳ボランティアの方が活動に利用されています。



○編集・プリント室

月に2回のペースで点訳図書、録音図書、点図だより、新聞コピー等の製本を手際よく行ってくれています。



○印刷・製本室

主にデイジー編集の活動に利用されています。ゆっくり急いで正確に。



フリーアナウンサーの佐藤美知子さんがプチと点字を体験され、普段は触れることのない点字器を使い自分の名前を打ったテープを手に、いい思い出になったと感想をいただきました。

九月三十日に秋田市の「秋田県社会福祉会館」で開催し、例年のおおくり「わくわく文化祭(秋田県視覚障害者福祉協会主催)」と共催し、福祉機器取扱業者からのご協力をいただき来場者に日常生活用具等に触れ、体験していただきました。新製品や長年使いこんだ品の更新等の相談の機会とさせていただきます。

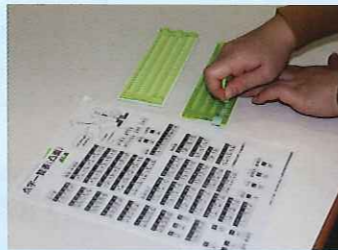
情報機器・日常生活用具展示体験会



プチと点字体験



去年は、プチ点字講座と銘打っていた事業を、点字を打つ時のプチッをもじり手軽に体験してみたいくなるネーミングを取り入れました。また、読む面で打つ小型点字器を準備し、五十音表を見ながら比較的容易に打つことができました。当館を視察に訪れた方々に体験していただいたほか、「心いきいき芸術文化祭」の体験コーナーでたくさんの方に体験していただきました。



点訳・音訳奉仕者養成講座

四月中に当館のホームページ、各市町村の広報等で広告し、五月の事前説明会を経て、六月から点訳九名、音訳四名の方々が受講されています。開講式では当館利用者の佐々木達夫さんから「私の読書方法」と題して講演をいただき読書が日常を楽しく過ごせる時間となつてお話をいただきました。受講者にエールを送っていただきました。三月の講座修了に向け、熱心に取り組まれてくださっており、講師の方々も全員が修了できるように一人ひとりに目配り気配りをしながら指導していただいております。



利用者懇談会

第一回は七月二十八日に当館で、第二回は十月十三日に大館市総合福祉センターで開催しました。事業報告では当館への苦情の有無意見交換では※サピエでダウンロードできるものと出来ないものがあることが不便であること、読書機器の操作の相談、市当局とは給付補装具の対象や耐用年数や更新等の摺り合わせがなされました。また、懇談会の際に情報機器等の体験を併せて行ってほしいとのご要望がありましたので事業を一步前進できるように図りたいと思います。



「サピエ」(※視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々を対象として、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する、インターネット上の電子図書館です。)

夏休み“点字図書館”探検



8月9日から11日までの3日間、午前と午後に分けて5回開催しました。6月には今年はいつですか?という問い合わせがあるほど楽しみにしていただいています。お子さんだけでなく引率のご家族にも一緒に探検をしてもらい喜んでいただきました。

